

説明会を複数回開催 新たな被害者の思い形に



提訴の意義を説明する北川事務局長

「補償基金制度」を実現する、⑤訴訟を全国に広げる、という5つの意義などについて説明しました。その後、2陣では二人の兄の遺族原告として頑張ってきた吉田重勇さん(村山大和)が、3陣では本人原告になることを表明し、共にたたかうことを呼びかけ、最後に高見京子担当書記が必要書類などの説明を行いました。

参加していた杉並

首都圏建設アスベスト訴訟 冒頭、1・2陣のたたかいを知らせるDVDを上映した。北川誠太郎事務局長(東京土建書記次長)が、①被害拡大を告発し、最高裁での勝利判決を勝ち取る、②集団訴訟のインパクトを与え続ける、③新たな被害者の思いを受け止める、④政策形成型訴訟

支部の脇田景信さん(74歳)は40年間タイル工として働き、2009年に体調を崩し肺がんと診断され、2014年に労災認定されました。ぜひ裁判でたたかいたい」と話していました。

説明会は6回行なう予定です。

建設アスベストのたたかい3陣提訴へ

総務省の家計調査報告では2018年の2人以上の世帯の消費支出は1世帯あたり1カ月平均28万7315円で、前年と比べて名目0.8%増となりましたが、物価変動の影響を除いた実質では0.4%の減となつています。また消費支出の対実質増減率の近年の推移をみると、消費税率引き上げを行なった2014年で2.9%減、2015年以降も減少が

今月の主張

10%実施で不況深刻に

871円で前年同月比1%増、パートタイム労働者では10万3693円で同1.1%減ですが、実質賃金指数(現金給与総額)は140.3でも売れず、さらに経営が悪化し、不況が一層深刻化していくでしょう。

拡大歩いてこない 替え歌も作り決意表明

品川

品川支部は8月23日、品川区立中小企業センターで活動者会議兼拡大出陣式を行ない、110人の仲間が参加しました。



決意表明をする西品川分会の阿部分会長

野村執行委員長は「分会出陣式にはこれまで拡大行動に参加しなかった仲間をぜひ誘い



講演する小森さん

8月20日、東京土建はけんせつプラザ東京で「憲法改悪阻止一暮らしに憲法をいかに学習集会」を行ない、32支部、本部から1300人が参加しました。

小森さんは参院選で市民と野党の共闘で改憲勢力が改憲発議に必要な3分の2の議席維持を必要とする中身について解説し、岸、佐藤、安倍とつながる血脈。政治が改憲の歴史的前提としてあることなどを明らかにしました。その後、目黒(沖縄・辺野

改憲の危険性学ぶ

3支部からの活動報告も

幕で披露しながらの発言で会場はなかなか雰囲気になり上がりました。

「アジトでご飯」「訪問祭」 楽しく仲間作り

小平 東村山



決意表明する柳瀬分会の仲間。この日は新加入の成果を持ち寄りまし

上の参加者が集まりました。冒頭で井上委員長から「秋は長期間の行動となるので今日は英気を養って、2カ月後にまたおいしいお酒を飲む」との言葉があり、そのあと飛田組織部長から仲間づくり月間の方針提案が行なわれました。

大会議室からレクリエーションホールに会場を移動して出陣式。乾杯、歓談の後に分会やシニア、主婦の会の決意表明がありました。「拡大はここから」拡大は今から「豊分会・労働歌がはばらう」、「拡大は歩いてこない月だからみんなで歩くんだけ」(豊越分会・「365歩のマーチ」)と替え歌やスローガンを横断

【小平東村山・書記・横山賢介通信員】小平東村山支部は8月23日、小平市福祉会館

総がかり 煽るな韓国敵視 自衛隊はイランに行くな

8月19日、国会議員会館前で戦争法(安保法制)廃止、安倍9条改憲阻止などを掲げた月例の総がかり行動が行なわれ、1600人の市民(東京土建からは55人)が参加しま

した。共同代表の高田健さんは、①参院選では改憲勢力を3分の2以下に抑え込んだ明確な勝利であることを確信を持つ、②安倍政権の韓国敵視政

策をやめさせ、反日でなく反安倍でたたかっている韓国市民と連帯する、③自衛隊のホルムス海峡派兵を許さない、④参院選1人区で立憲野党候補が勝利した地域の活動を教訓にし、総選挙でも小選挙区で勝利し安倍政権打倒の準備をすすめる、の4点を主催者あいさつで強調しました。各分野からのスピーチでは5人がマイクを握り、市民連合めぐせた(目黒区、世田谷区)のメンバーは地域の立正佼成会の教会を訪ね、3000万署名を600筆以上も集めた経験話を話し、参加者を勇気づけました。また立憲野党からは、佐々木隆博(立民・衆)、山下芳生(共産・参)の2人の議員が連帯のスピーチを行ないました。